

Rotary



宮崎南週報



感動と充実で豊かな夢と輝きを!

宮崎南ロータリークラブ
会長 日高 章智

第1818回例会

2015.2.2

会長／日高 章智 幹事／入佐 秀幸
副会長／川野 一義 会報／戸高 勝利
例会場／宮崎観光ホテル
ソング／君が代 四つのテスト
ロータリーの目的／



宮崎RC
蘭田有美様



宮崎RC
金子崇徳様



宮崎西RC
尾崎哲夫様



宮崎東RC
都原清次様

会長挨拶

日高章智会長



1月21日の朝刊から連日1面にイスラム国の日本人人質事件が報道され安部首相の中東地域の人道支援の2億ドルを逆手にとり、湯川遥菜さんと後藤健二さんの解放に身代金を要求。応じなかったので湯川さんを殺害。後藤さんと引き換えにリシャウ死刑囚の引渡しを要求。ヨルダン政府は自国のパイロットの生存確認が先だと応ぜず、後藤さんまでが犠牲となり最悪の展開となりました。この上はお二人の生きがらをなんとか故郷の土に帰してあげたい気持ちでいっぱいです。平和ボケの日本人も今後テロ事件に巻き込まれる危険性が増すのではないか。

2月はロータリー世界理解月間です。世界には日本で考えられない様なルール・マナーがロータリー

出席委員会報告

分田正明委員長

●出席状況

本日状況	
会員数	(39) 40名
本日欠席者数	15名
本日出席者数	25名
出席率	64.10%

前々回状況	
会員数	(38) 40名
ホームクラブ出席者数	26名
メークアップ数	0名
修正出席者数	26名
修正出席率	68.42%

●前々回メークアップされた方／

ニコニコ BOX 0件 3,000円
累計 209,000円

募金箱 5,480円
累計 113,721円

の友（2月号）に掲載されています。

アメリカ、カリフォルニアの南部で鉄道の踏切で車を一旦停止すると警官が踏切では一旦停止してはいけませんと注意された「列車が止まってくれるから車は止まらないように」カリフォルニアでは車が優先との事。海外で知る日本との違いを8ページから紹介しています。なお、新年度（7月から）ロータリーの特別月間が変わります。（38ページ参照）

幹事報告

入佐秀幸幹事



・国際ロータリー日本事務局より

2月のロータリーレート 118円



松下美佐子会員

先日は、今年初めての年始懇親会を小戸荘で開催頂きありがとうございました。

今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

Rotary ロータリー情報

世界理解と平和の日(World Understanding and Peace Day)

1905年2月23日はロータリー創始者ポール・ハリスが友人3人と最初に会合をもった日である。この2月23日の記念日は世界理解と平和の日として順守されている。各クラブはこの日に、ロータリーの国際理解と友情と平和への献身を特に認め、強調しなければならない。

委員会報告

親睦委員会報告

太田寛子副委員長



- 3月16日に宮崎南RC創立40周年記念式典が行われます。奥様の参加もよろしくお願いします。

会報委員会

戸高勝利委員長



1月19日のクラブ協議会で、週報の「原稿締切を例会の翌日火曜日までに提出」の案件は承認されました。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

その他

お知らせ

宮崎東RC 都原清次会員



『車椅子バスケットボール南九州大会』
開催について
3月1日(日)に宮崎市総合体育館において『第2回車椅子バスケットボール南九州大会』を宮崎東ロータリークラブ・鹿児島サザンウインドロータリークラブの共同主催で開催致します。多くの参加者をお待ちしておりますのでよろしくお願いします。



トピックス！

●誕生月

中原捷博会員
日高勇二会員
分田正明会員



●結婚月

安川 潔会員
戸高勝利会員
森 英典会員



本日のプログラム

国際奉仕について

田中 寛会員



皆様こんにちは。私は、当ロータリーの国際奉仕委員長を担当しており、毎年2月が国際奉仕に関する世界理解月間になっていますので、国際奉仕にちなんだお話をさせていただきます。世界理解月間の始まりは、ロータリーの創始者であるポール・ハリスが、1905年2月23日に、友人3人と最初に会合をもった日であり、この2月を特別月間として世界理解月間に指定されています。同月間中、クラブは世界平和に不可欠なものとして理解と親善を特に強調するクラブ・プログラムと活動を実施し、世界社会奉仕を中心としたプログラムを行うよう要請されています。国際奉仕は、書物を読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブの活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々との文化や慣習、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために会員が行う活動から成っています。具体的には、ボリオ・プラスへの貢献、青少年交換留学、VTT（外国との有機農業を通じた世界の食の安全に寄与するための相互の職業研修）など活動内容は様々です。当ロータリーが、蓮田ロータリーと共同で計画しているタイに図書館を建築する計画もその活動の一つといえます。

ロータリーの活動としては、世界平和の推進が大きな目的の一つですが、現在の世界の状況を見ると、特に中東諸国では、シリアやイラクを始め、国内が、民族の違いや、宗教の違いや、主義主張の違い等が原因となって内戦状態にあり、混乱を極めています。そのような中で、昨日のニュースで「イスラム国」に人質になっていた後藤健二さんが殺害されたことを知り、愕然とし、同時に強い怒りを覚えました。「イスラム国」の上記暴挙は、当然ながら全世界から強く非難されるべきです。その一方で、ロータリーとしては、このような世界情勢の中で、どうすれば世界平和が実現できるかを考え、活動していく必要があると思いますが、「手に手つないで」の歌にあるように、世界の人々が、手に手をつなぎ、輪に輪をつないでいくことで、ロータリーの精神が全世界に広がるように活動を続けていくことによって、世界平和を実現できるのではないかと思いますし、そういうことを切に願っています。